

小美玉市新まちづくり構想等策定委員会第2回分科会会議結果について

1. 日 時:令和5年8月4日(金)13:30~16:00
2. 場 所:小川総合支所 3階 会議室
3. 出席者:分科会委員29名中21名(欠席者:石井委員・長津委員・戸田委員・山内委員・皆藤委員・貝塚委員・幡谷委員・根本委員)

事務局

政策企画課:植田課長(司会)、海保補佐・倉田主査

都市整備課:朝比奈課長、深作補佐・富田係長・中山主幹・重藤主任・廣山主任

健康増進課:太田課長

商工観光課:佐川課長・榎戸補佐

生涯学習課:田山課長

業務委託業者:(株)AN 計画工房:西垣・斉藤・阿久津

(株)ミカミ:飯塚・甲

(株)都市計画センター:山田

【主な内容】→説明者

1. 開 会

2. 協議事項

(1) 全体説明

①第1回分科会の振り返り 資料1→事務局

新交流拠点(百里飛行場前)は、そらの拡張、遊具などを整備して欲しい。普段使いでもできることが重要。百里基地の歴史を伝える。航空ファンが集まれるようなところ。空港関連の要素を前面に出して集客してはどうか。航空産業の誘導をイメージしたい。ホテルを誘致して集客したい。農用地など開発規制の緩和を図るという意見が出た。それを踏まえ、修正後としては赤い文字のところを追加した。

百里基地周辺国有地は、多目的広場と空港関連の公園整備、子供たちが遊べる場づくり、公園や運動施設などの整備。農用地等の開発規制の緩和を図るという意見が出た。それを踏まえて、赤い文字のところを追加した。

小美玉温泉ことぶきは、宿泊施設の整備、サイクリングなどの来訪者が車で来て温泉利用ができればいい。

やすらぎの里小川は、防災公園との連携と自然に親しめる生涯学習施設になったらいい。和風のテイストを生かす。外国人向けの高級宿泊施設になったらいい。温泉があればいいという意見があった。

小川市街地は、昭和の町並みが残る観光的要素があり、歴史的施設や神社などを歩いて巡るのもいい。水運の名残とか、小川河岸跡の活用。ただ人の不足で、祭りができない。子供の遊び場や公園の整備をして欲しいという意見があった。

旧小川小跡地周辺は、観光来訪のための施設整備と住宅地分譲とか老人施設に転換してはどうか。地域のシンボルとしての活用を図る。一方でその低地の部分では水害が心配と

いう意見があった。

新交流拠点(JR 羽鳥駅前)は、図書館、コンビニなどが必要ということ。子供から大人までの利用ができる学習の場所の整備。図書館・生涯学習の場、研修所の整備、公民館の老朽化対策という意見が出た。

羽鳥市街地は、子供の遊び場、公園の整備、道路の整備、歩道や自転車道等の整備、農業の集約、空き家対策。

新しい拠点は、道の駅、商業施設を整備し集客してはどうか。

玉里市街地は、地域の財産を生かして、観光来訪を拡大していく。子供の遊び場、公園の整備、小学校跡地の活用ということが出た。

大井戸湖岸公園は、特に意見は出ていないが、こちらからの提案通り、キャンプ場としての利用、イベント開催の場、今回花火をやるということで、そういったイベントの開催の場。サイクルスポーツの拠点ということ。

権現山公園は、娯楽施設の整備、歴史と文化の交流を促進したらどうか。

そういった意見を受け、一番右側に赤字で書いていますのが各拠点に追加した項目。第1回目の分科会の意見を踏まえて、まちづくり構想を全体的に修正させていただく。

②ワークショップの進め方→事務局

(分科会資料に基づき説明)

(質疑なし)

(2) ワークショップ

(分科会ごとに、自己紹介、役割分担を決めて2つのテーマでワークショップを進めた)

○小川地区・美野里地区

テーマ1 交流拠点の機能をデザインしよう

小川地区は新交流拠点(百里飛行場前)、美野里地区は新交流拠点(JR 羽鳥駅前)の第1回分科会で設定した機能について、使いやすくするアイデアをまとめた。

テーマ2 交流拠点の配置をデザインしよう

機能を使いやすくするためのアイデアをもとに、敷地図に「部屋の大きさカード」を配置して、新交流拠点の建物の規模や部屋の配置を考えた。

○玉里地区

テーマ1 玉里市街地の機能をデザインしよう

玉里市街地の第1回分科会で設定した機能について、使いやすくするアイデアをまとめた。

テーマ2 玉里市街地の配置をデザインしよう

現況図をもとに、土地利用のゾーニングや道路のネットワークを描き、将来像をデザインした。

○発表

小川地区

前回、健康づくり、自衛隊との交流、観光交流、魅力、安心安全、宿泊できる機能を選び、今回特に健康づくりを一番に掲げて、意見を出し合った。空港前に温泉や仮眠ができるスペース。これは空港利用者が、飛行機が遅延した時にも使えるもの。スポーツジム、B.M.L.T というイチロー選手が使っている機材を使ったトレーニングジムの設置の意見も出た。

アリーナの施設に、騒音を実感できる音響シミュレーションの設置という意見も出た。

自衛隊との交流ということで、百里バルーンクラブが小美玉にはある。こちらの熱気球をうまく使って、教室等をゆったりして、自衛隊との交流を図っていくという意見が出た。あと自衛隊OBにも関わりを持ってもらい、百里の歴史を踏まえて、自衛隊の人との交流を図る。前は結構交流盛んだった自衛隊の監理部長さんとの話し合いもいいという意見も出た。

魅力を発信する機能ということで、アリーナの中にレセプション会場を設置して、そこで会議や食事などもできる施設として使う。この中に戦闘機を展示して見学できるようにしたらどうかという話も出た。茨城空港のイベントで一番人が集まるのは旧車。北関東の人は車好きということもあるので検討したらどうか。日本の武道を海外の方が体感できるよう、板間を上手く使ってこのアリーナができないかという意見も出た。テントドームがあると、全天候型でイベントができる。

観光と安全で、観光の部分では、戦闘機、防災訓練、米軍との交流も行うとか、安心安全を提供するというので、シェルターの的なもの、最近、日本以外では核シェルターをいっぱい持っているという話もありますので、何かそういうスペース。東京だったら地下鉄がそれに値するのでしょうけれど、普段は違うもので使っていていざというときはそこに逃げ込めて、水や電気が備蓄できる状態を作るとか。キツザニア的に消防の訓練を体験でき、子供たちに平日来てもらうような仕掛けも面白いということでした。

宿泊できる機能ですけれども、この中では仮眠や休憩はできるが、本格的なホテルはこのアリーナではなく別でという話になった。

こちらの地図、ここが今の飛行場の築山。茨城空港ってここに、笠間の石が入っていて、ここが駐車場です。ここが普段空港に上がっていく道で、ここが十字路になっていて、そららがこの辺です。この部分を使って、先ほど4000㎡の中でということであったので、アリーナのようなものであれば、2階建てぐらいで、1階が2000ぐらいの建物に、この機能を入れていって真ん中が空洞である感じです。大体4000切るぐらいの施設を造ったらどうだろうということでは話まどまった。

美野里地区

美野里地区は、子育てを支援する機能、子供たちの学びを支援する機能、生涯学習関係、魅力を発信する機能、行政サービスを提供する機能、安全安心を提供する機能。

羽鳥駅の西側にあるふれあいセンターがなくなるということで、ふれあいセンターにある機能をそこに含めなくてははいけない。それから羽鳥公民館がなくなるというので地域の方々が集会をする場所を含めなくてははいけない。まずそれが前提にあり、そして羽鳥駅の

東側、4000㎡ぐらいの場所に箱物をつくるという考えです。

機能について色々考えて出した。羽鳥駅周辺には公民館がないから、公民館をお願いしたい。それから、防災拠点、子育て支援。子供たちの学びを支援する機能も含めて子育て。こういったものがこれからは大事だということが出た。

どれぐらいの大きさかわからないので、例えば図書館で近くの石岡の中央図書館、ネットで調べたら1777㎡。子供の図書館も含めてだと思ふ。土浦は最近できた新しいところは5000何百㎡ある。石岡の人口は7万ぐらい、こちらが5万弱ですから、1500ぐらいという考え方になる。これは子供の図書館も含めてです。

話の中で非常に出てきたのが、防災拠点です。防災の用具もあるし、公民館がなくなると、避難する場所がなくなりますから。避難する場所も必要だということで、大雑把ですが、行政サービスが30とか40、安全安心を提供するこれも含めて、大体1000、子育て関係は500ぐらいと。

子育ては図書館の方で、子供図書館を考えるが、それが1500の中の500で、子育ては全く小さい子供たちです。保育園とかの子供たちに、今はあまりないようですが、急遽いろいろ相談をしたりできる場所も含めて考えたらどうかという案が出た。

3000㎡です。これは羽鳥の東側の土地に、大体三階建てで、多分、三階と通路を結んで、駅から行けるような場所という形で、細かなところまでは詰めることはできませんでしたが、ごく大雑把なところで、そういう考えが出た。最初は、2000ぐらいの提案が出たが、ちょっと2000では追いつかない。話をしていけば、していくごとに、もうちょっと大きく欲しいとなり、何とかこの辺で落ち着いた。もう1回繰り返しますと、子供たちの学びを支援する生涯学習、これは図書館のスペースみたいな感じで、1500ぐらい。子育て支援、細かいところはまだ考えてないが500ぐらい。行政サービスと安全安心いわゆる防災拠点、公民館の会議室も含めて1000ということ。

玉里地区

子どもたちの教育支援・子育て世帯の子育て支援の拡充についての提案をする。まず、教育支援については、玉里学園義務教育学校周辺を「学びの場」とすること。旧玉里小学校に複合の学習施設を誘致する。学習塾、スポーツ塾など親が送迎の手間なく、放課後自分たちで直接向かえる距離にそのような施設をつくってほしい。

また、旧玉里幼稚園を子育て支援の場として再利用するという提案。近辺に公園もあるということで子どもが体を動かす場として活用できる。施設自体も雨の日、暑い日でも遊べるような屋内施設として活用する。室内遊具の設置や給食センターの設置を利用したのカフェなど子どもも親も集える場所があると子育て世帯にはありがたい。

→事務局

本日のワークショップを踏まえ、次回の分科会では最終的な案を示したい。

(3)次回会議の日程について

日時 9月25日(月) 13時30分～

会場	小川総合支所 3階 大会議室	小川地区分科会
	第1・第2会議室	美野里地区分科会
	第3会議室	玉里地区分科会

3. その他

第1回の分科会の会議録を確認いただき、修正等は事務局まで。

4. 閉 会